

みなとみらい21地区におけるスマートなまちづくりの検討について

1 横浜市みなとみらい21地区スマートなまちづくり審議会の目的

- ・みなとみらい21地区は事業開始から約30年が経過し、この間の社会情勢の変化を踏まえ、地球温暖化対策やBLCP*への対応など、新しい要素を取り入れたまちづくりを進めていくため、審議会を設置しました。
- ・本審議会では、「世界を魅了する最もスマートな環境未来都市」の実現に向け、みなとみらい21地区の現状分析と課題抽出、新たな都市像の構築に向けた検討を行い、今後のまちづくりの方向性を定めることを目的としています。

*BLCP (Business Living Continuity Planning) とは、災害や事故に対して、最低限の事業活動や生活の継続を図るための危機管理に関する行動計画。

2 みなとみらい21地区の課題等に関する主なご意見

- ・みなとみらい21地区の課題を抽出し、今後重点的に取り組むべき対策について検討しています。

地球温暖化対策の取組

- ・持続可能で低炭素なまちづくりが求められている
- ・海を活かした環境学習や海洋都市としての展開が必要

自然災害リスクへの対策

- ・災害時のエネルギーの自立性、多様性確保が喫緊の課題である

グローバルな都市間競争

- ・スマートなまちづくりに資する多様な取組を行っているものの、情報発信力が不足しているため海外に知られていない
- ・世界中の有能な人材に選ばれる都市を目指す必要がある

都市の賑わい

- ・水際に大規模な緑地が配置されているものの、街中の人通りの多い空間に実感できる緑が不足している
- ・ベンチ等の休憩スペースが少なく、散歩したくなるまちなになっていない

3 スマートなまちづくりに向けた都市の将来像（～2050年）

- ・みなとみらい21地区の課題を踏まえ、スマートなまちづくりに向けた都市の将来像を検討しています。

みなとみらい21地区の都市像（現行）

1. 24時間活動する国際文化都市
2. 21世紀の情報都市
3. 水と緑と歴史に囲まれた人間環境都市

文化創造都市

- ・MICEの拠点都市・観光創造都市による地域経済の活性化
- ・羽田空港機能拡張に合わせた国際化進展
- ・文化芸術分野と都市環境との融合
- ・グローバル規模で有能な人材に選ばれるビジネス都市
- ・新技術をスタートさせるメッカとして、ブランド力の強化等により世界中から多くの投資を呼び込む場の創出
- ・多様なデータを重層的に組み合わせ活用する産学官の連携基盤形成

人間環境都市

- ・水と緑の環境重視（みなとみらい21地区のウォーターフロントの魅力強化）
- ・海を活かした環境学習の展開など、海洋都市としてのプレゼンスの強化
- ・高齢者に優しく、住民や就業者が帰属感をもてるコミュニティ形成
- ・CO₂の削減等、環境目標の実現
- ・低炭素社会と環境に配慮した都市構造の実現

災害に対して強靱な安全安心都市

- ・エネルギー供給の多重化対策の推進
- ・自立分散型エネルギー対策の推進
- ・安全性・環境性・経済性に優れたエネルギー
- ・災害時に機能する情報通信手段の多様性確保

*スマートなまちづくり 情報通信技術の活用等を図ることにより、市民生活の質を高めながら、環境への負荷が少なく、持続的に発展することができるまちづくりをいう。

*MICE (Meeting Incentive tour Convention Exhibition) MICE (マイス) とは、Meeting (企業等の会議)、Incentive Travel (企業等の行う報奨・研修旅行)、Convention (国際機関・学会等が主催する総会、学術会議等)、Event あるいは Exhibition (イベント・展示会・見本市) の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称。

4 スマートなまちづくりに向けた取組の方向性

- ・ 目指すべき都市の将来像を実現するため、4つの取組の方向性を検討しています。

【エネルギー】 選ばれる都市が備えるべきトップランナー性能のエネルギー

エネルギーを使う側で省エネルギーを促進するとともに、多様なエネルギーを供給する多重化策によって、災害に強い、環境面に配慮した、経済的なエネルギーネットワークを形成します。

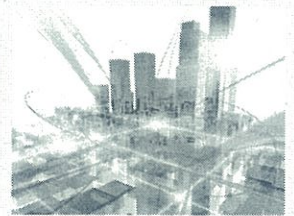
【需要サイド】 BEMS、CEMSによる最適なエネルギーマネジメント

【供給サイド】 災害時の電力と熱の供給強化
再生可能エネルギーと未利用エネルギーの活用

【総合化】 ICT活用によるエネルギー需要サイドと供給サイドを
総合したエリアエネルギーマネジメント



共同溝



エネルギーのスマート化

【グリーン】 見せる緑から五感にふれる緑への再生

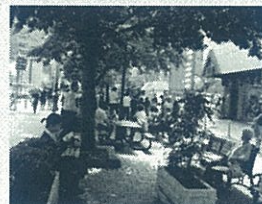
景観面の配慮だけでなく、緑陰の涼しさを感じたり、鳥のさえずりを聞いたり、賑わいと一体となった滞留空間を形成し、緑の多様な効用が感じられる豊かな空間づくりを進めます。



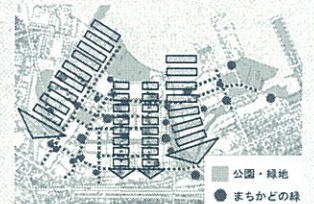
緑の道



生物多様性



賑わいと憩いの場



風の道

【モビリティ】 エコモビリティの自由な移動で活発化する都市活動

環境配慮型の多様なモビリティが都市全体をネットワーク化し、都市活動を活性化していきます。



歩行者空間



コミュニティサイクル



超小型モビリティ



電動立ち乗り二輪車



急速充電器

【アクティビティ】 成長から成熟都市への変貌を促すアクティビティ

文化芸術創造都市にふさわしい成熟した都市生活が体感できる境界の形成や創造性を重視したまちの賑わいを引き出す環境づくりを進めます。



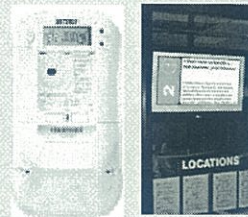
国際対応環境整備



Wi-Fi



MICE推進



デジタルサイネージ(情報発信)



環境学習拠点

5 今後の予定

- 10月24日 第2回エネルギー部会(省エネルギー・低炭素化・BLC P性能向上の実現化に向けた方向性)
- 12月13日 第3回審議会(スマートなまちづくりの実現化方策、国内外への情報発信方法の検討)
- 3月14日 第4回審議会(全体取りまとめ、答申予定)
- 26年度～ 答申で示された取組の実現に向けた検討

横浜市みなとみらい21地区スマートなまちづくり審議会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	現職等
柏木 孝夫	東京工業大学特命教授
河口 真理子	株式会社大和総研調査本部主席研究員
岸 恵子	俳優、作家
小林 重敬	東京都市大学教授
佐土原 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授
末吉 竹二郎	国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問
善養寺 幸子	株式会社エコエナジーラボ代表取締役
千葉 太	一般社団法人横浜みなとみらい21 環境対策委員会委員長
中尾 明	株式会社都市設計研究所代表取締役
仲條 亮子	早稲田大学大学院ファイナンス研究科非常勤講師
◎村上 周三	一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長
望月 淳	横浜商工会議所副会頭
望月 洋介	日経BPクリーンテック研究所長
山崎 洋子	作家
渡辺 真理	アナウンサー

※◎は審議会会長

エネルギー部会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	現職等
柏木 孝夫	東京工業大学特命教授
小林 重敬	東京都市大学教授
佐土原 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授
千葉 太	一般社団法人横浜みなとみらい21 環境対策委員会委員長
◎村上 周三	一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長

※◎は部会長

横浜市みなとみらい21地区スマートなまちづくり審議会の開催状況

・審議会

	開催日	主な議題
第1回	6/18 (火)	みなとみらい21地区における新たな都市像について
第2回	9/3 (火)	スマートなまちづくりに向けた取組案について

・エネルギー部会

	開催日	主な議題
第1回	9/3 (火)	みなとみらい21地区の省エネルギー・低炭素化・BLC P性能の向上に向けた取組状況、フィジビリティ・スタディの際に考慮すべき視点